

バッテリー交換手順ガイド

GXT3-J UPS 用バッテリー・パック GXT3-7A72BATKITJ、GXT3-7A48BATKIT2J、GXT3-7A48BATKIT1J、GXT3-5A48BATKITJ (以下『バッテリー・パック』)は、GXT3-J UPS シリーズ(以下『UPS』)用のオプション品です。バッテリー・パックはそれぞれ、対応する UPS 以外には使用できません(表 1-1 参照)。

表 1-1 各バッテリー・パック対応 UPS

バッテリー・パック型番	対応 UPS 型番
GXT3-7A72BATKITJ	GXT3-3000RT100J
GXT3-7A48BATKIT2J	GXT3-2200RT100J
GXT3-7A48BATKIT1J	GXT3-1500RT100J
GXT3-5A48BATKITJ	GXT3-800RT100J, GXT3-1100RT100J

この交換手順ガイドをよくお読みになってから、バッテリー・パックの取付および操作を行ってください。

1 製品について

バッテリー・パックは UPS の内蔵バッテリーの交換用バッテリーです。GXT3-7A48BATKIT2J、GXT3-7A48BATKIT1J、GXT3-5A48BATKITJ バッテリー・パックには 12VDC バッテリー 4 個(直列)が、GXT3-7A72BATKITJ バッテリー・パックには 12VDC バッテリー 6 個(直列)が、それぞれ収納されています。

GXT3-J シリーズ UPS の内蔵バッテリー・パックは、ユーザが安全に交換できるよう設計されています。交換前に安全注意事項を読んでください。該当するバッテリー・パックの製品番号および価格は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

バッテリー・パックの寸法・重量は表 1-2 を参照してください。

表 1-2 寸法と重量

バッテリー・パック型番	寸法(奥行き×幅×高さ mm)	重量(kg)
GXT3-7A72BATKITJ	208.5 × 480.2 × 70.7	18
GXT3-7A48BATKIT2J	208.5 × 331.7 × 70.7	12
GXT3-7A48BATKIT1J	208.5 × 331.7 × 70.7	12
GXT3-5A48BATKITJ	250.0 × 189.4 × 73.6	9.3

安全注意事項

バッテリーは、感電や短絡による大電流の危険があります。バッテリー・パック交換前に以下の注意事項を確認してください。

- 指輪や腕時計など金属品を外してください。
- 絶縁ハンドル付工具を使用してください。
- バッテリー上部に工具や金属品を置かないでください。
- バッテリー・キットに何らかの損傷や液漏れが見られる場合は、すぐにお買い求めの販売店へご連絡ください。
- バッテリーを火中に廃棄しないでください。爆発の恐れがあります。
- バッテリーの取扱い、運送、再利用は自治体の規制に従ってください

2 取付

2.1 設置環境

バッテリー・パックは、以下の条件を満たした環境に設置してください。

- 換気が十分で、直射日光の当たらない場所
- 水や熱源、可燃物、爆発物が近くにないこと
- 塵埃や揮発性ガス、塩分、腐食性物質のないこと

バッテリー・パックの環境条件は表 1-3 を参照してください。

表 1-3 環境条件

パラメータ	推奨範囲
周囲温度	0° C ~ 40° C
相対湿度	20%RH ~ 90%RH (結露のないこと)
標高	≤ 3000m
気圧	標準大気 1

2.2 開梱時の点検

- バッテリー・パックが運送中に受けた損傷がないか確認します。損傷があった場合、直ちに運送業者およびお買い求めの販売店へご連絡ください。
- 付属品に欠品や間違いがないか、出荷リストの記載内容と照らし合わせて確認してください。

2.3 バッテリー・パックの交換手順

- UPS 全面カバーを外します
- バッテリー・ドアにあるネジ 6 本を緩めて外します(図 2-1)



図 2-1 全面カバーとバッテリー・ドアを外す

- バッテリー・ドアとネジは後で戻すため、置いておきます。
- バッテリー配線を慎重に引き出し、バッテリー・プラグとバッテリー・レセプタクルを外します(図 2-2)。



図 2-2 バッテリー・プラグとバッテリー・レセプタクルを外す

- バッテリー・ハンドルを持ち、内蔵バッテリー・パックを UPS 本体から引き抜きます(図 1-3)。



図 2-3 内蔵バッテリー・パックを引き抜く

- 新品の内蔵バッテリー・パックを開梱します。梱包を傷つけないように注意してください。新品バッテリー・パックを古いものと比較し、同じ種類・型式であることを確認します。同じであれば、下の手順 7 へ進んでください。異なる場合は作業を中断し、お買い求めの販売店へご連絡ください。
- 新しい内蔵バッテリー・パックの位置を合わせて本体内に挿入します。
- バッテリー・プラグとバッテリー・レセプタクルを元通り接続します。
- バッテリー配線と内蔵バッテリー・パックを UPS 内部に押し込みます。
- 全面のバッテリー・ドアをネジ 6 本で元通りに取り付けます。
- 前面カバーを元通りに UPS に取り付けます。

注意

- 内蔵バッテリー・パックはホットスワップ可能ですが、この作業中、負荷は電源障害・停電から保護されていない状態になるため、十分に注意して行ってください。
- UPS がバッテリー運転の状態でのバッテリー交換を行わないでください。出力が停止して負荷が落ちてしまいます。

3 UPS LCD パネルでの最終バッテリー交換日 入力方法

- ENTER ボタンを 1 秒押しメニュー画面を開く
- 「2 設定」を選択して ENTER ボタンを 1 秒押し
- 「2 バッテリー設定」を選択して ENTER ボタンを 1 秒押し
- 「最終バッテリー交換日」を UP または DOWN ボタンで選択し、ENTER ボタンを 1 秒押し
- 年、月、日を UP または DOWN ボタンで設定し、ENTER ボタンを 1 秒押し
- ESC ボタンを押すと「設定変更されました。すぐに有効になります」が表示され設定が更新されます

●お問合せ先

DKSH ジャパン株式会社
テクノロジー事業部門 (Vertiv 製品担当)
〒108-8360 東京都港区三田 3-4-19
TEL: 03-5730-7500, FAX: 03-5730-7517
URL: www.dksh.jp
E-mail: tec-np.dcim.jp@dksh.com